

## 千葉県南房総市立 富山中学校



# 各教科で広がるeライブラリ！

## ～ 5教科の実践と利用のメリット ～

富山中学校では各教科の授業でeライブラリを活用し、これまで購入していた教材の削減により保護者負担の軽減を実現しています。今回は、各教科でのeライブラリ利用のねらいやメリットをご紹介します。

### ドリルと確認テストを使った学習サイクル

飯田先生



▲先生から配信されたドリルに取り組む

#### 数学 2年：角と平行線

##### POINT!

目標の正答率に達しない場合は、再テストを行い確実な定着を目指す

授業開始の5分間は先生から配信されるeライブラリのドリル教材で既習事項の復習を行います。

大体2週間に1度、「確認テスト」で単元の総まとめに取り組みます。飯田先生は、クラスの平均正答率80%を目標に設定し、それを下回った場合は翌週も同じ「確認テスト」を実施し、確実な定着を目指しています。



#### eライブラリ活用の成果

- 繰り返し学習することで、**基礎学力の向上**につながっている。
- 自習時も学習履歴をもとにした教材に取り組めるため、**個別最適な学び**につながっている。
- 休み時間にも自ら教材に取り組む姿が見られ、**学習意欲の向上**につながっている。
- 間違えた問題があった際、**「解答解説」を見て理解しようとする生徒が増えた**。

これまで、何が分からないのかを分かっていない生徒が多かったが、eライブラリはすぐに「解答解説」で確認できるため、「解説のこの部分分からない」と具体的な質問が出るようになった。 ※ eライブラリは全問題に解答解説がついています。

### インタビュー 各教科での活用で、保護者負担の軽減を実現

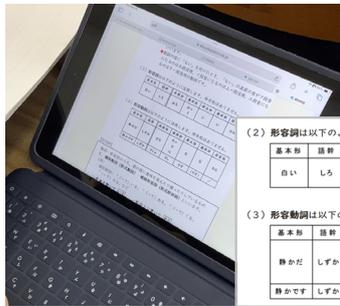
昨年「教材の保護者負担を減らそう」ということで各教科の学習をeライブラリに移行してきました。eライブラリでは**個々に合わせた教材にどんどん取り組める**ため、自分の興味に従って学習する生徒が増えており、**多様な問題に取り組めることがメリット**だと感じています。

今後は、これまで各教科で取り組んでいるeライブラリの学習効果について検証し、より良い活用に繋げていきたいと思っております。

(教務主任：篠原先生)



取材した各教科の先生方(写真左から)源間先生 飯田先生 高山先生 尾郷先生 坂井先生



(2) 形容詞は以下のように活用します。命令形はありません。

基本形	終止形	連体形	連用形	終止形	連体形	假定形
白い	しろ	から	かつく	い	い	けれ

(3) 形容動詞は以下のように活用します。命令形はありません。

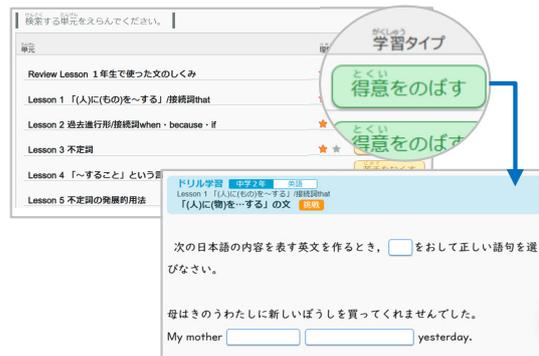
基本形	終止形	連体形	連用形	終止形	連体形	假定形
静かだ	しずか	だ	で	だ	な	なら
静かです	しずか	です	です	です(です)		

▲解説教材でポイントの復習

## 国語 2年：活用ある目的語（動詞）

文法は年間3回ほどしか扱えず、生徒たちが忘れてしまいがちです。eライブラリのドリルを利用することで、**いつでも学年をまたいで復習ができるため、生徒が自分でつまずきを見直すことができます。**また、授業に取り入れることで、生徒のつまずきをその場で把握し、すぐに指導に繋げることができます。

# 短時間でレベルに応じた問題練習



▲理解度に合わせて教材をおすすめ

## 英語 2年：(人)に(もの)を~する接続詞that

授業の冒頭に単元を指定して利用しています。授業内では言語活動を行いたいため、文法についての問題練習の時間はあまりとれません。また、宿題とする場合も、個々のレベルに応じた内容を用意するのは困難です。

eライブラリは、**短時間で生徒のレベルに応じた課題や、学年をまたいだ学習に取り組むことができるので、とても魅力的だ**と感じています。

# テスト前の力試しに



▲確認テストの結果画面の例

## 理科 2年：身近な生物の観察（1年の復習）

「確認テスト」を、復習の際によく利用しています。小テストや定期テストの前にその範囲の「確認テスト」を出題します。採点結果からは、自分のできる/できないがわかります。**苦手を可視化でき、どこを復習すればいいのか分かる**ことが「確認テスト」の良さだと思います。「学習指示」を利用すると事前に課題を配信できるので、「この日に確認テストをやるよ、タブレット出して」と伝えておくと、出張で不在時も自主学習できる点が良いと感じています。

# 授業開始の5分間で前時の復習



▲生徒がドリル解答中に授業の準備に取り組む様子

## 地理 1年：アフリカ州の概観（自然）

授業開始の5分間で、前時の学習内容の復習にeライブラリを利用しています。「**学習指示**」を利用すると**進捗状況が簡単に確認できる**ので、解答中は本時の授業準備に取りかかれます。生徒からは、「答えるときに書かなくて良い」「選択式なので使いやすい」「すぐに答え合わせができ、わからないときはヒントを活用したり、間違えた問題は解説を確認、リトライできる」などの声が挙がります。知識の定着に適しているeライブラリを今後も活用していきたいです。